

Report

山と自然のサイエンスカフェ@信州 ハイブリッド

本年度は山と自然のサイエンスカフェ@信州（山カフェ）全3回を予定しています。そのうちの2回を6月と7月に開催しました。山カフェ開始以来、初となるオンラインと現地でのハイブリッド開催となりました。

参加者からは、「子供がいてもオンラインで気軽に参加できて良かった。」「わからない内容を司会役が質問してカバーしてくれるので理解が深まった。」などのご感想をいただきました。



会場の県立長野図書館の信州・学び創造ラボ

●第1回（通算第55回）山カフェ 『湖沼に侵入したクラゲとザリガニ』

開催日：6月4日（土）

参加人数：27名

信州大学のピーターソン・マイルズさんと自然環境部の北野聡主任研究員が、外来生物であるマミズクラゲやウチダザリガニの生態や最新の研究成果を紹介しました。



●第2回（通算第56回）山カフェ 『高山帯のお花畑を訪れる蝶たち』

開催日：7月2日（土）

参加人数：35名

信州大学名誉教授で当所生物多様性保全アドバイザーの中村寛志さんが、中部山岳域の蝶の分布とその環境変化による影響について紹介しました。

（葉田野 希／自然環境部）

親子環境講座

開催日：7月30日（土）

会場：環境保全研究所（飯綱庁舎）自然生態園

参加人数：6組 16名



ワクワク森歩きで職員から解説を受ける親子

7月下旬に、新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベル5「医療特別警報」が発出されたことを受け、施設公開は中止とし、屋外で行う親子環境講座『ワクワク森歩き』のみを実施しました。感染症対策のため、受付時の手指消毒や検温のほか、各家族の間で十分な身体的距離を確保することなどの対策を行い実施しました。

ワクワク森歩きでは、自然生態園の一部を1時間程度かけて歩きながら、エコクイズ、放射温度計による温度観測、植物・昆虫・キノコ・野鳥などの自然解説、森林内で寝転ぶ体験、観測機器の解説などを行い、参加者からは、「個別にお話しがきけてよかった。」「森の中でさまざまな生物の鳴き声がきけて良かった。」などのご感想をいただきました。

（葉田野 希／自然環境部）

